

# 経済動向調査のまとめ

令和4年度 第4四半期（1月～3月）

## 1. 兵庫県の景気動向

（令和5年2月9日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約）

### ① 景況

現状（良い－悪い）構成比（%ポイント）

区分	R4.3	R4.6	R4.9	R4.12	R5.3(予測)
全産業	▲1	▲3	3	2	▲3
大企業	15	6	8	10	4
中堅企業	▲2	▲1	10	3	6
中小企業	▲8	▲8	▲2	▲3	▲13
うち製造業	1	▲5	▲1	▲3	▲5
うち非製造業	▲4	0	10	7	▲3

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

企業の業況判断は、足もととは横ばいだが、先行きは悪化すると見込んでいる。

### ② 需要

項目	R2年度	R3年度	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
商業販売額:億円	17,960	18,016	1,550	1,479	1,529	1,504	1,879
(前年度比増減率%)	(+1.1)	(+0.3)	(+2.1)	(+1.9)	(+3.0)	(+1.5)	(+4.8)
(前々年度比増減率%)			(▲4.7)	(+1.7)	(+6.1)	(+2.9)	(+5.1)
乗用車販売台数:台	152,809	141,627	9,361	13,009	11,632	12,503	11,679
(前年度比増減率%)	(▲8.7)	(▲7.3)	(▲6.3)	(+18.6)	(+21.6)	(+5.9)	(▲1.1)
(前々年度比増減率%)			(▲7.9)	(▲15.4)	(▲15.1)	(▲9.1)	(▲8.3)
新設住宅着工戸数:戸	30,551	29,844	2,797	2,265	3,274	2,930	2,651
(前年度比増減率%)	(▲3.2)	(▲2.3)	(+5.9)	(▲11.8)	(+21.3)	(+4.3)	(+2.2)
神戸港輸出額:億円	49,756	61,520	6,028	6,245	6,689	6,641	6,890
(前年度比増減率%)	(▲8.4)	(+23.6)	(+28.1)	(+24.7)	(+23.7)	(+31.7)	(+19.2)

（出所）商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項目	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(実績)	R4年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	0.8	▲1.2	2.4	▲13.4	25.4
(H27年度比:H27=100)	(115.2)	(113.9)	(116.6)	(101.0)	(126.6)

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

個人消費は、持ち直している。

輸出は、増加している。設備投資は、増加計画にある。

### ③ 生産

項目	R2年度	R3年度	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11
鉱工業指数:H27=100 (前月比増減率%)	93.1 (▲10.3)	93.9 0.9	96.1 (▲0.7)	97.3 (+1.2)	98.3 (+1.0)	100.0 (+1.7)	96.9 (▲3.1)

(月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

(出所) 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

生産は、持ち直しの動きとなっている。

### ④ 雇用

(有効求人倍率の年度値は原数値、雇業者所得計の年度値は年平均)

項目	R2年度	R3年度	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
有効求人倍率(季節調整値):倍	0.97	0.94	1.05	1.04	1.07	1.07	1.06
新規求人数(原数値):人 (前年度比増減率%)	26,812 (▲20.0)	28,235 (+5.3)	28,326 (+10.1)	30,042 (+2.3)	32,540 (+6.3)	29,402 (+10.8)	28,849 (+1.6)
雇業者所得計:億円 (前年度比増減率%)	5,418 (▲4.7)	5,340 (▲1.4)	4,630 (+3.2)	4,683 (+2.8)	4,685 (+3.4)	5,283 (+9.4)	- (-)

(出所) 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

有効求人倍率は、前月を下回った。雇業者所得は、弱めの動きとなっている。

### ⑤ 金融

項目	R2年度	R3年度	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12
企業倒産件数:件 (前年度比増減率%)	396 (▲15.9)	329 (▲16.9)	23 (▲14.8)	30 (▲23.1)	33 (+43.5)	29 (▲3.3)	33 (+10.0)
企業倒産負債総額:億円 (前年度比増減率%)	590 (+18.5)	294 (▲50.1)	38 (▲22.0)	51 (+97.2)	24 (+7.4)	84 (+304.8)	25 (+102.1)

(出所) 兵庫県企業倒産状況(東京商工リサーチ神戸支店)

倒産件数は、前年を上回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、持ち直している。

個人消費は、持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、概ね横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、弱めの動きとなっている。輸出は、増加している。

こうした中、生産は、緩やかに増加している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

(令和5年2月7日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

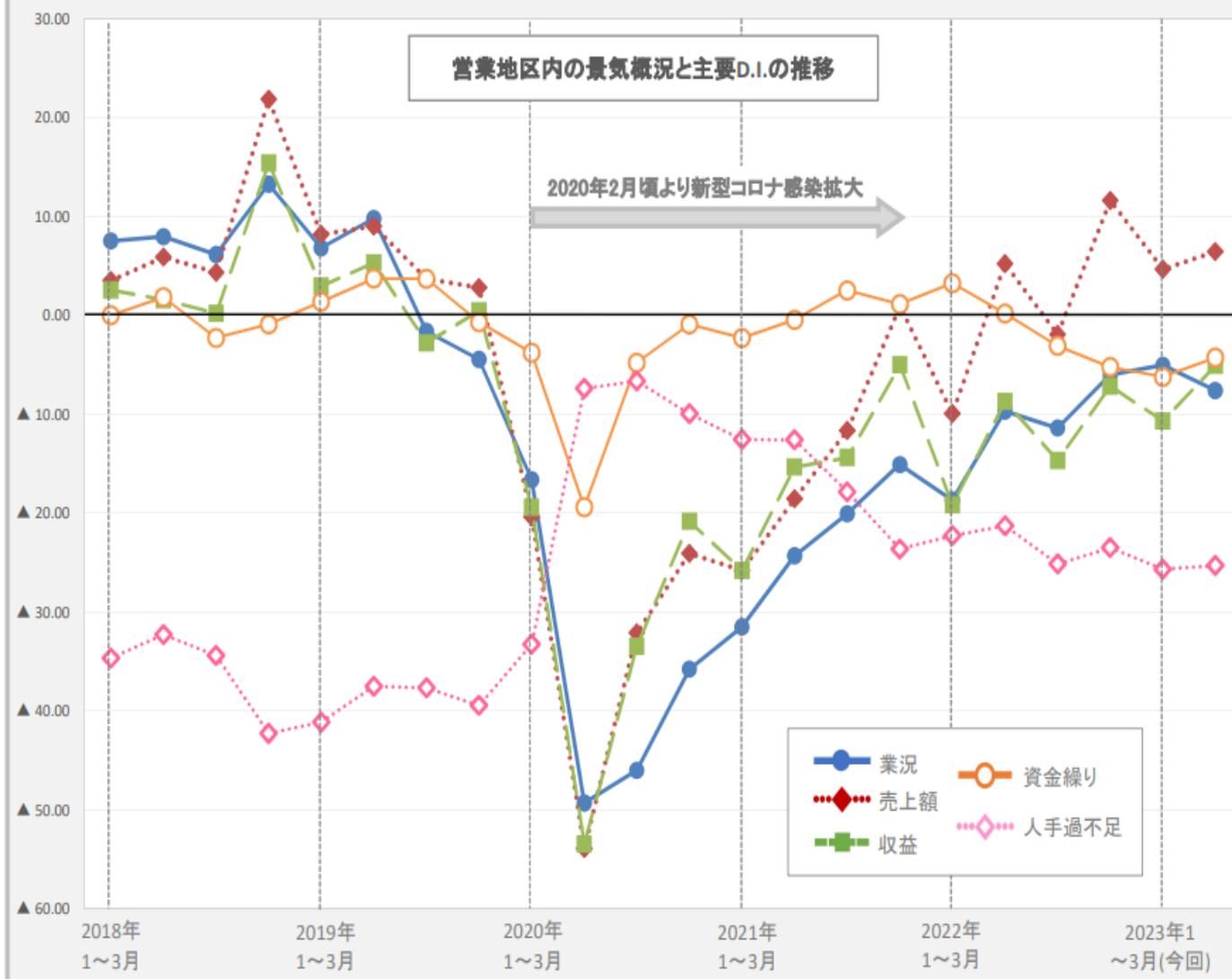
# 1. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2023年 1～3月期)

※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。

今期の全地域・全業種における業況D.I.は▲5.06と前期から0.95ポイント改善しましたが、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が軒並み低下しており、厳しい実績となりました。来期は業況D.I.が低下するものの、売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が改善する予想となっています。年末年始のコロナウイルス感染第8波が収束に向かいつつあり、5月8日には「5類」への感染法上の位置づけが変更されるなど、感染状況に景気が左右されることのない「ウィズコロナ」の本格化が期待されています。また、未だ先の見えないウクライナ戦争や半導体等の供給制約、エネルギー・原材料価格の高騰、米国発の金融不安連鎖の懸念など、不安材料が続く一方で、買上げによる個人消費やインバウンド需要の回復など、経済活動の正常化への動きも活発化しています。

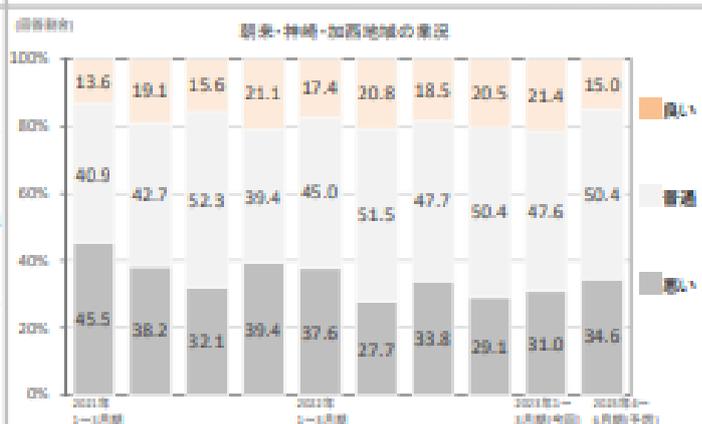
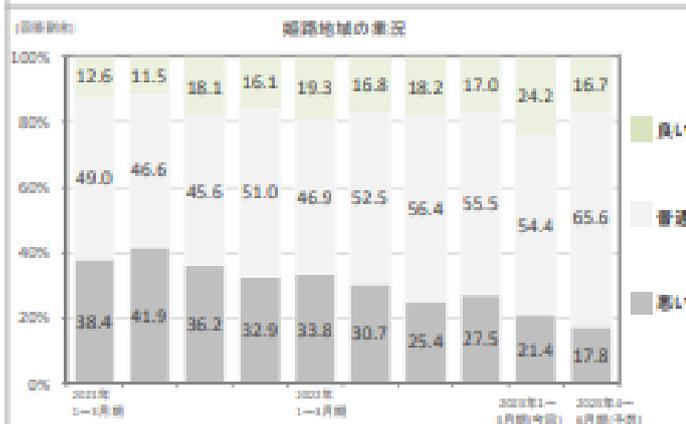
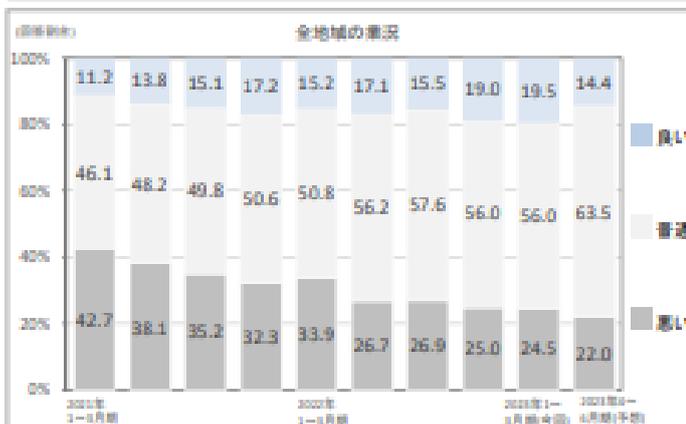
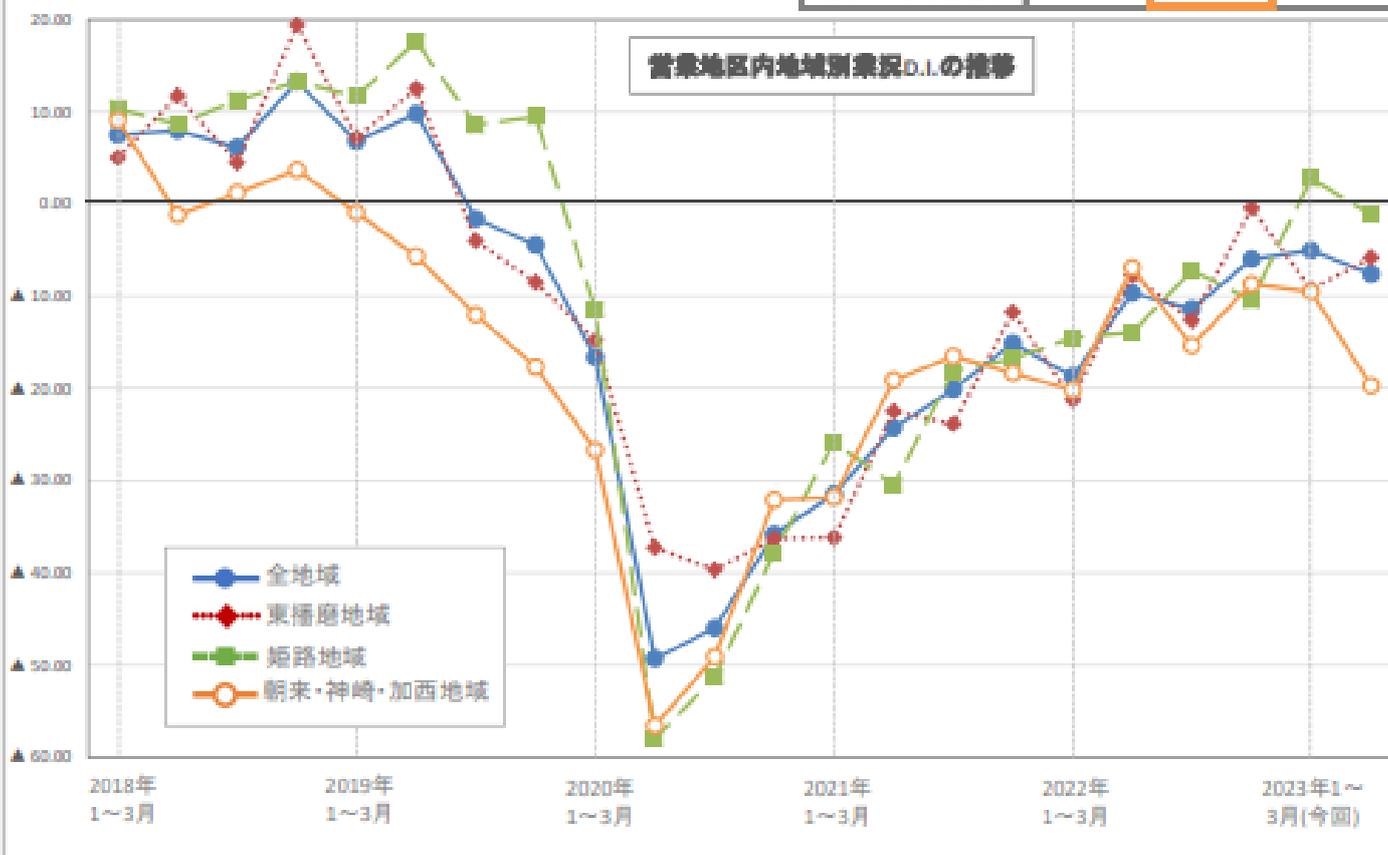
D.I.	2022年10～12月期	2023年1～3月期(今回)	2023年4～6月期(予想)
業況	▲ 6.01	▲ 5.06	▲ 7.60
売上額	11.61	4.66	6.43
収益	▲ 7.16	▲ 10.68	▲ 5.07
資金繰り	▲ 5.22	▲ 6.23	▲ 4.28
人手過不足	▲ 23.50	▲ 25.68	▲ 25.29



(回答企業 516社) (回答率 99.0%)

今期の地域別実績は、全地域が▲ 5.06 と前期から 0.95 ポイントの改善、東播磨地域は▲ 9.22 と 8.74 ポイントの低下、姫路地域が 2.75 と 13.19 ポイントの改善、朝来・神崎・加西地域は▲ 9.52 と 0.86 ポイント低下しています。来期は東播磨地域で若干改善するものの、全地域、姫路地域、朝来・神崎・加西地域で低下する厳しい予想となっています。

地域	2022年10 ～12月期	2023年1 ～3月期 (今回)	2023年4 ～6月期 (予想)
全地域	▲ 6.01	▲ 5.06	▲ 7.60
東播磨地域	▲ 0.48	▲ 9.22	▲ 5.83
姫路地域	▲ 10.44	2.75	▲ 1.11
朝来・神崎・加西地域	▲ 8.66	▲ 9.52	▲ 19.69



業種別では、製造業と建設業が前期にプラス域へ浮上していたものの、今期は低下し、製造業はマイナス域となりました。卸売業は前期から18.87ポイント改善、不動産業は横ばい、建設業は低下して±0に、サービス業と小売業はマイナス域ながら前期から改善しています。来期は、製造業・サービス業・不動産業・小売業が改善し、卸売業・建設業が低下する予想となっています。

業種	2022年10 ~12月期	2023年1 ~3月期 (今回)	2023年4 ~6月期 (予想)
製造業	2.13	▲ 3.19	▲ 2.69
サービス業	▲ 22.50	▲ 12.88	▲ 11.25
不動産業	0.00	0.00	3.33
小売業	▲ 25.37	▲ 15.38	▲ 13.85
卸売業	▲ 16.67	0.00	▲ 12.50
建設業	7.77	0.00	▲ 10.58

